

# メッセージをどう聞くか 二年 組 番 名前

① 筆者が農家のあるじの言葉から感じ取った「生きるうえで大きなメッセージ」(20・2)とはどんなものだと考えられるだろうか。農家を訪ねたときの筆者の体験を踏まえて簡潔にまとめよう。

② 「メッセージ」という言葉の辞書的な意味を書いたうえで、この文章の中で筆者が使っている意味を、辞書的な意味との違いに注意しながらまとめよう。

「メッセージ」	
辞書的な意味	
この文章の中で筆者が使っている意味	

③ 「メッセージの捉え方はそのままその人間の在り方、生き方を表すのではないだろうか。」(20・8)とは、どういうことを意味しているのだろうか。簡潔にまとめよう。

④ 「メッセージ」についての筆者の考えを受けて、自分はどうか考えるか、まとめてみよう。

# 短歌を楽しむ

(1)

二年

組

番

名前

① 次の空欄を埋めて、短歌という表現形式の特徴を確認しよう。

・短歌は、〔 〕 年以上の歴史を持つ日本独自の伝統文学。

・五・七・五・七・七の〔 〕 音で表すという〔 〕 (きまった形)を持つ。

・小説などの散文に対し、短歌や俳句、詩を〔 〕 (響く文という意味)とよぶ。

② 鑑賞文で取り上げられている三首の短歌について、鑑賞文を参考にして、表されている情景や心情と、表現の特徴を簡潔にまとめよう。

短歌 (二首を書き写そう)	表されている情景や心情と、表現の特徴
(与謝野晶子)	
(寺山修司)	
(栗木京子)	

★ 三首を音読し、短歌のリズムを味わおう。

③ 三首の中から一首を選び、自分の感想を簡潔にまとめよう。

ア 金色の…… イ 海を知らぬ…… ウ 観覧車…… (選んだ短歌の記号に○を付ける。)

# 短歌を楽しむ

(2)

二年

組

番名前

① 教科書24ページの「短歌五首」を読み、それぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像して、簡潔に書いてみよう。

短歌	想像した情景や心情
くれないなの……	
(正岡子規)	
最上川の……	
(斎藤茂吉)	
白鳥は……	
(若山牧水)	
不来方の……	
(石川啄木)	
「寒いね」と……	
(俵 万智)	

★ 五首から一首を選び、暗唱してみよう。

② 「短歌五首」(あるいは、「扉の短歌七首」を加えた十二首)から一首を選び、最初にその短歌と作者名を書き写してから、鑑賞したことをまとめよう。